



建築物総合環境計画概要書 新築

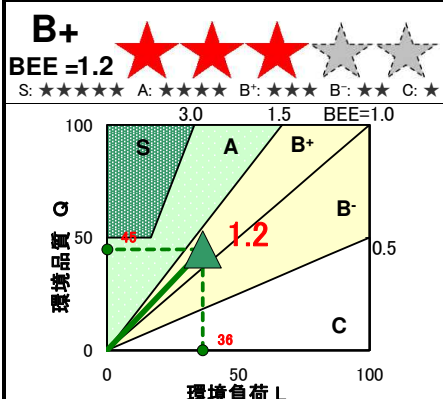
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

1-1 建物概要

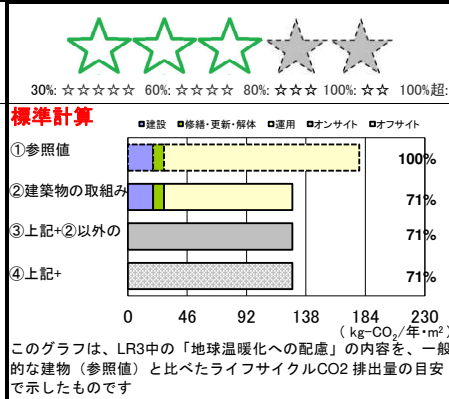
建物名称	(仮称) 西区西本町2丁目プロジェクト 新築工事		
建設地	西区西本町2丁目		
建築用途	事務所、共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	1,039.80	m ²	
建築面積	701.17	m ²	
延床面積	7,917.08	m ²	
構造/階数	RC造	/	地上14階
完了年(予定)	2023年3月		

1-2 外観

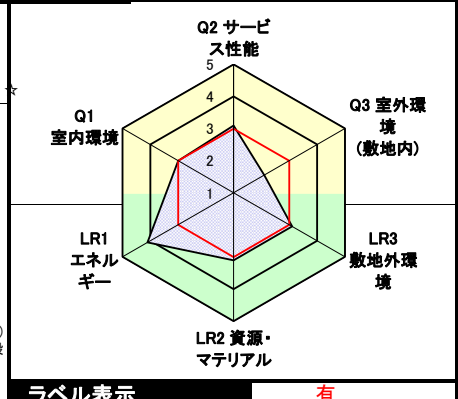
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



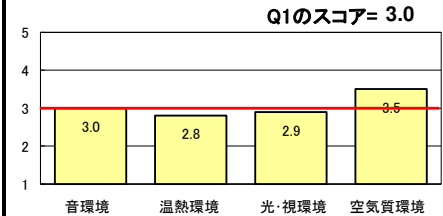
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



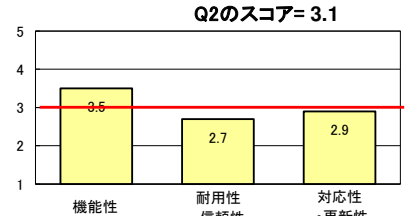
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

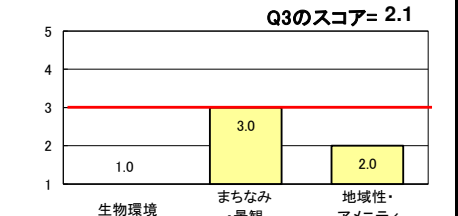
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

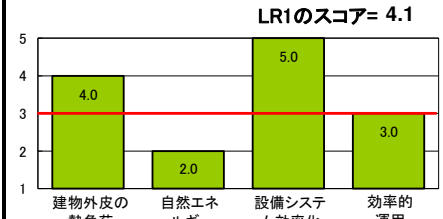


Q3 室外環境 (敷地内)

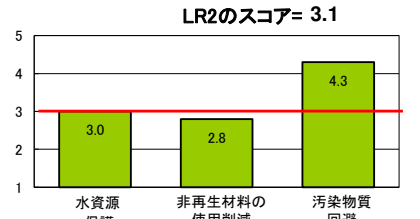


LR 環境負荷低減性

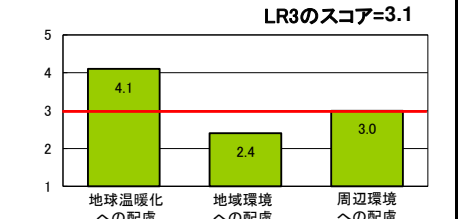
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

本町通に面するバルコニーは、スラブラインを連続させ、本町通の流れに呼応する。またバルコニースラブの出幅や厚み、色を切り替えるデザインとすることで建物を分節化し、間口の狭い周辺建物と調和するように配慮した。低層部のオフィスは、周辺建物に多いガラスのファサードとすることで、連続したまち並みとなるよう計画した。

その他

特に無し

Q1 室内環境

内装材には、F☆☆☆☆を使用し、良好な空気環境の形成を行っている。また、各住戸に採光窓を大きく確保することで、高い昼光率を確保している。

Q2 サービス性能

計画時には、インテリアパスを作成し、内装計画の事前検討を行っている。

Q3 室外環境 (敷地内)

本町通側に緑地を確保することで、良好な景観を形成している。また14階のコミュニティスペースにテラスを計画し、建物の内外を連関させる豊かな中間領域を確保している。

LR1 エネルギー

日本住宅性能表示基準における等級4相当としている。

LR2 資源・マテリアル

リサイクル材を積極的に採用し、地球環境に配慮した建物としている。また、有害物質を含まない材料を使用することで、化学物質の使用低減を行っている。

LR3 敷地外環境

駐車場、駐輪場を確保している。周辺の車両通行量に配慮した車両動線とすることで、地域への交通負荷に配慮した計画としている。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 4.1
配慮事項	特に無し

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	1.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 1.0
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 1.0
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	特に無し

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	特に無し

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 5.0
配慮事項	特に無し

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BEI][BEIm]	
	等級4 (相当)	-	
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEIm]	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEIm]
	0.67	0.67	-